

人と人、そして地域の絆を 紡ぐスポーツのチカラ

金メダリスト小原日登美さん キッズレスリング体験教室にける想い

問合せ／生涯学習課 ☎636



キッズレスリング体験教室

活動日／原則毎週土曜、午後3時～5時

場所／市民総合体育館 剣道場

詳しくは生涯学習課へお問い合わせください。



「金メダルを祝う会」(平成24年8月)の参加者は1,000人を超えた。

ロンドン五輪レスリング女子金メダリストで富士見市PR大使を務める小原日登美さん。現在は自衛隊体育学校に勤務する傍ら、市民総合体育館でキッズレスリング体験教室の講師をしています。幼少期からレスリング一筋だった小原さんは、現在子育て中のママ。そんな小原さんだからこそ語ることができると言っていました。

育てたいのは強い絆と 一生懸命頑張る心

「昨年9月からキッズレスリング体験教室が始まりました。指導にあたり心がけていることはありますか。」

小原さん まずはレスリングに触れてもらい、楽しく元気に体を動かしてもらえればと思っています。富士見市にはいつも元気いっぱい、積極的な子どもが多いので、とても教えがいがあります。これからどんどん伸びていくと思います。

小原さん 私のキャリアには良い成績だけでなく、悪い成績もたくさんあり、挫折も多く経験しています。それを乗り越えられたのは、やはり周囲との絆があったからです。特に、ロンドン五輪直前に夫から「結果は考えなくていい。どんな結果でも、ともに戦ってきた人たちは変わらずそばにいる」と言われたことは、負けれないプレッシャーから逃げ出さなくなっていた私にとって大きな励みになりました。夫は長くレスリングで苦楽をともにした仲間。協力してくれている妹夫婦も同様です。針ヶ谷小学校の尾形翼先生(写真後列右)もレスリングで妹夫婦とつながりがあり、講師として参加してくれました。一生懸命な時間とともに過ごすことが強い絆を作るのだと思います。

また、家族は小さいころは勝てなかった私に「いつか勝てる」と言い続けてくれ、一緒にトレーニングするなど、全力で私を見守ってくれました。現在、私も子育てをしていますが、親が子どもに



Profile

おばらひとみ
小原日登美

ロンドン五輪レスリング女子フリースタイル48kg級金メダリスト。世界選手権通算8度優勝。
平成28年5月から富士見市PR大使に就任。
現在は自衛隊体育学校1等陸尉。

この教室は勝利至上主義ではなく、体力をつけること、きちんとしたあいさつができるようになること、一生懸命頑張る心を育てることを基本としたいと思っています。私が小さいころに通っていた八戸キッズレスリング教室はそのような指導方針で、たくさんの良き仲間ができました。小さいころは勝てなかった私が今まで続けられたのは、そのおかげだと思っています。指導には夫の康司さんだけでなく、妹夫婦の清水真喜子さん・博之さんともに世界で活躍したレスリング選手たちも協力されていて、今まで小原さんが築いてきた家族や仲間との絆を強く感じます。



キッズレスリング体験教室では、けがをしない体づくりも重視している。

方的に言い聞かせるのではなく、何かできたら褒めてあげたり、一緒に体を動かすなどして時間を共有し、子どもが自主的に物事に取り組める環境を作ることが大切だと感じています。

「小原さんが富士見市に住み始めて8年、市民の皆さんとの絆を感じますか。」

小原さん ロンドン五輪から帰ってきたとき、多くの市民の皆さんが出迎えてくれたことにとても感激しました。また、キッズレスリング体験教室や富士見市PR大使として活動をしていく中で、市民の皆さんとの絆が強くなっていくのを感じています。これからもレスリングを通して地域の絆や子どもたちが頑張る力を育てていきたいと思っています。

勝てなかった幼少期から金メダル獲得まで、仲間や家族、地域の絆に支えられてきた小原さん。これからもキッズレスリング体験教室を通して、子どもたちの夢を応援していきます。